

寺内地域包括

『地域包括支援センター』は、地域にお住まいの高齢者の皆様が安心して生活を続けていただけますよう、『何でも』ご相談をお受けしている総合相談窓口です。ご本人からでも、ご近所の方のことで、離れて暮らすご両親のことでもかまいません。「こんなことを聞いても大丈夫かしら？」なんて遠慮もありません。担当の包括は市町村の窓口からも問い合わせ出来ます。個人の秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。



直通 ☎ 018-853-6300

寿光園居宅

事業所には現在4名の介護支援専門員が地域で暮らしているご利用者の悩みや相談事に応じ、自立生活ができる様に支援させて頂いております。生活環境・介護環境は一人ひとり違いますが、そのような皆様一人ひとりに適したサービスプランを提供するよう心がけています。私達は、地域の皆様の個々の生活に関わらせてもらう中で、人生の勉強をさせて頂いていると感じております。そのような経験を積ませてもらった介護支援専門員が対応させて頂きますので、一人で悩まず不安を抱かず、一緒に考えますので、お気軽にお電話ください。

直通 ☎ 018-893-5761

ヘルパーステーション

『住み慣れたご自宅での日々の暮らしのお手伝いをいたします。』

居室の清掃・調理・洗濯・買い物などの日常生活上の必要なサービスや、入浴介助・外出介助（通院）をベテランヘルパーがおこなっております。

丁寧な介護支援サービスで安心感を持っていただけるように、また、ヘルパーの訪問を楽しみにしていただけるように、これからも信頼されるヘルパーステーションを目指して参ります。



TEL 018-880-1050

ショートステイ

ご利用者の心身の状況や、ご家族の精神的・身体的な介護負担の軽減を図る為、短期間施設利用し、日常生活上の支援や機能訓練等を職員が行っております。『急に身体を動かす事ができず、自宅で過ごす事が難しくなった』『在宅介護をしているが、時々休む時間がほしい』『冠婚葬祭等で一時的に自宅で介護をする事が難しい』等、ご利用者、ご家族のさまざまなご要望に応じ、ショートステイを利用される事で、在宅生活を継続出来るようサービスさせて頂きます。



TEL 018-880-1050

職員募集

詳しくは **018-880-1050** (工藤) までご連絡ください。

編集後記

今年の冬は大変寒く関東や都心でも降雪がある例年にないような冬でした。そのためか秋田県全域では感染症警報や注意報が出されておりました。当施設では2月に感染症の発生がありました。すぐに終息に向かい、その後は安定した生活が送られておりますのでご安心ください。
立春・雨水・啓蟄と過ぎ、もはや春彼岸、そして桜開花の知らせ等、日々春に向かっていく今日この頃ですが、これからもご利用者様一人ひとりに寄り添い、笑顔の桜を咲かせていけるよう接していきたいと思っております。
(広報編集委員一同)



笑顔で招福 節分の豆まき

寿光園の屋根の下

第134号
平成30年3月
発行元
高清水寿光園

これからの在宅支援は新たな道です

寺内地域包括支援センター 寿光園
管理者 佐々木 基成

少子高齢化等により今までの介護制度では立ち行かなくなることから、「地域共生社会」「一億総活躍」のもと、皆が皆を支援し合うという政策が進められています。今までの介護サービスの枠を緩和した新たな支援の在り方を模索しながら、私たちができる事について日々考えをめぐらしているところです。

秋田市でも、平成29年度から「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まり、多種多様なニーズに応じた多種多様な支援を提供する為の仕組みができました。しかし、仕組みはあっても新たな支援がなければ今までも何も変わりません。平成29年度は仕組みを作り制度を移行させた年であり、新たな支援については平成30年度以降の重要課題となっております。

その他にも様々な政策とそれに伴う事業が何本も同時に動いており、現在の在宅支援は未知の領域に突入していると言えます。官民共同で制度を横断した今までの新しい新たな道を作っていくためには乗り切れない状況です。寿光園の在宅部門では何が出来るのか、何をしなければいけないのか、職員皆で知恵を出し合い、または皆様のご意見を聞きながら効果的な活動をしていかなければいけないと考えております。

私たちの活動が地域福祉の向上に寄与できるよう、多種多様なニーズに応じた多種多様な支援を提供できるよう、新たな道に向かって研鑽していきたく思います。

最後に、ご存知の方も多々ありますが、寿光園の中庭に新事務所を建設しており間もなく完成です。県産杉材を多く使った温かみのある建物となっております。地域包括支援センターと居宅介護支援事業所が新事務所に移転となりますので、寿光園にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

2東フロアは、32名のご利用者が生活されており、103歳のご利用者の方を始めとして、タオル・エプロンたたみを毎日の日課とした軽作業を行っております。また、茶話会を行い、スイートポテトや焼き芋・焼きリンゴをフロア内で普段交流することのないご利用者と一緒に頂くことで、季節感を味わってもらっております。「おいしいなあ〜」「あなたいつもタオル掛け頑張ってくれてる人だね」等、お互いに声を掛け合いながら穏やかな時間が流れております。

短時間でも一緒にDVD鑑賞を行う等、寄り添うことを常に意識し、ご利用者が今思っている事・感じている事を吸い上げることが出来るような支援を心掛けております。

2東



特 養

平成29年度 各フロアの取り組み

2北



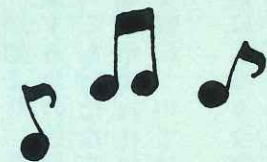
2北フロアは99歳の年長の方を始め28名のご利用者が生活しているフロアです。

2北の窓からは四季折々の景色が眺めることが出来ます。夕陽の真っ赤な輝きを目にすることも出来るため声を出して喜ぶご利用者もおります。また、行事が行われるたび盛り上がりました。プレゼントを持ったサンタさんが来てくれたり、ホットケーキやどら焼きを作って食べてたりと、大いに楽しみました。

今後ともご利用者の笑顔があふれる支援を行って参りたいと思います。



1東



1東は32名のご利用者にて構成されております。毎日元気にお話しやお手伝いをして頂いているご利用者もおられれば、ベッド上の生活が主となる方など、様々なご利用者がご利用されております。

今年の活動として、「音楽にふれ合う」をテーマに上げており、職員が弾き語りに挑戦しております。中でも坂本九の「上を向いて歩こう」を演奏すると、口ずさむご利用者もおられれば、一緒に声を出して唄うご利用者もおられました。「昔のことを思い出した」等の言葉も聞かれています。

これからも機会があれば実施し、ご利用者から「えがった。よかった。」と思って頂けるよう職員一同一生懸命支援して参りますのようしくお願い致します。

介 護 取 組

寿光園では、ご利用者の方が4つのフロアに分かれ生活されております。一番身近でご利用者と関わるフロア介護員が中心となり、日々介護力向上の取り組みを実施しております。今年度も各フロアのご利用者に合わせて支援内容を検討し、個々に支援期間を設け取り組みを行って参りました。今年度の介護力向上の取り組みについて紹介致します。

1階フロアでは、各担当ごとにご利用者の支援目標を掲げ、他の職員がケアに入っても同じ対応ができるよう連携を図っております。ご利用者一人ひとりのニーズに沿ったサービス提供を心がけると共に、日々の生活に刺激が持てるレクリエーション（スイカ割り等）の充実を図る事で、ご利用者の表情にも変化があらわれ、たくさん笑顔が見られておりました。

2階フロアでは、昨年に引き続き「ユマニチュード」という技法を取り入れて実施してきました。「見る・話す・触れる・立つ」の4つのコミュニケーションを柱とした技法です。同じ時間に落ち着かなくなるご利用者にとって、毎日決まった時間に手すりに掴まりながらの歩行練習や、マンツーマンでの足浴を行う際の何気ない言葉がけ等の日常的な関わりの中で、笑顔や穏やかな表情が見られるようになり精神面での安定に繋がったと思われれます。その他にも塗り絵や簡単な計算式等の取り組みの中で、「実は本人が行える」といった新たな気づきや発見もありました。

ご利用者が日々穏やかに過ごして頂けますように、その場限りの介護で終わらず、ご利用者の生活の維持に繋げられるような介護を、今後も引き続き取り組んで参ります。

1北は特養・ショート併設のフロアであり、約半数が経管栄養のご利用者です。唯一2人部屋のあるフロアで、ご夫婦で過ごされているご利用者もいらっしゃいます。

1北

日々マッサージや一緒に散歩・軽作業を行うなど、言葉掛けやふれあいを大事にすることで、ご利用者のたくさんの笑顔やいきいきとした表情がみられました。

今後ともご利用者のニーズに沿ったサービスの提供を心掛け、一つひとつの支援に「心をこめて」参りたいと思います。

